

学校自己評価報告書

(平成30年度)

1. 教育理念・目標

本校は1946年に創立され1960年に「大阪府準学校法人」資格取得、1995年に「学校法人」の名称を取得した。現在、本校には幼稚部、小学部、中学部の各学年に1クラスずつ設けられ、学校としての教育方針を以下のとおり明確にしている。

- (1) 中華文化の発揚
- (2) 中日親善の促進
- (3) 生活知能を充実させる
- (4) 科学知識を培養する

また、中国語、日本語、英語をともに重視するようにしており、国際社会に貢献できる人材を育てることを目標としている。

2. 学校運営

① 事業計画書の作成について

毎決算ごとに「事業計画書」及び「事業報告書」を作成し本校ウェブサイト公表している。

② 運営組織については、理事、監事、評議員による健全で円滑なガバナンスが機能するよう努めている。校務については教務、学務、総務に分担させ責任を明確化している。平成24年度より多角開発推進部を置き、外部との交流、連携を重視する体制を整えている。

③ 経理処理を確実に実行するため、予算の策定から経費の支出に関する一連の流れを複数人で管理することによりミスを未然に防ぎ、適正な経理処理を行う体制を整備している。また日々の取引について定期的に内部監査を行い、取引の妥当性についてチェックを行っている。

3. 教育活動

- ① 設定した目標を達成するための授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

教員の採用にあたっては、これまで履歴書、職務経歴書等の書類により審査を行うとともに十分な時間をかけて面接、模擬授業を実施し、授業内容に必要な指導力があるかを判定している。また採用後においても各種の研修会に参加し、台湾の教育資源を活用しつつ、教育制度の進化に対応できるよう努めている。

また、日本の教員免許等、教育に関する資格を取得した場合には手当を支給することで教員一人ひとりの向上心を高め、各教員の指導者としてのスキルアップを図っている。

採用面については、これまで経験の豊富な教員を採用することが多かったが、可能な限り若い教員を採用することで、より活気のある教育環境を整えている。

- ② 資格取得の指導体制はあるか

生徒の学力を強化し、中・日・英の三カ国語をもって国際化に対応できるように、各種コンクールを開催したり、検定試験に積極的に参加することを奨励している。

4. 教育成果

- ① 進学率の向上が図られているか

教育課程について、幼稚班は基礎教育に重点をおき、小学部で多国語能力の養成を、中学部では高校進学を重視しており、希望の高校に進学できるよう各教員が連携して三者懇談、受験対策などさまざまな機会を提供しながら生徒の指導にあたっている。

中学部の一年次から、主要五教科について、土曜日の午前中に補習授業を実施するなど、支援体制を整備している。卒業生から国立大学、有名私立大学に進学の報告を多数受けている。

- ② 退学者の低減対策をしているか

退学の理由は生徒により様々であるが、日常的な指導において、各教職員が生徒とのコミュニケーションを十分とるように徹底している。長期欠席者等、退学につながる可能性がある生徒については、保護者との連携を強化し、三者懇談等により対応している。現在のところ教職員のこうした努力により、全生徒が学校生活を楽しく過ごすことができる学校であると保護者からも一定の評価を得ている。

5. 学生支援

① 保護者と適切に連携しているか

毎学期に授業参観を実施し、参観終了後に保護者会を開催し、多数の貴重な意見をいただき、教員の能力向上への取り組みに役立てたり、施設、設備の充実を図るなど、生徒が学習に専念できる環境づくりに努めている。

② 課外活動等に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

台湾より文化教師や教育大学の指導者、実習学生等を招聘し、民族舞踊、獅子舞、夏季事業等を行っており、課外活動の充実に努めている。

学童保育班を設置しており、共働きなどにより両親が不在がちな生徒について、フォローできるように対応している。

6. 教育環境

① 施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか

各教室の床洗浄、ワックス塗布を継続することにより、清掃の負担が減るとともに、衛生面の向上がみられる。また古くなった教室用の机、椅子の更新を進める。

② 安全性及び防災に対する体制は整備されているか

毎年度1回、消防避難訓練を実施しており、緊急時における避難場所や誘導方法などを教職員、児童生徒に周知している。また安全性を確保するため防犯カメラによる常時監視、集団下校の実施など対策を強化している。

7. 学生募集と受け入れ

① 学生募集活動

現在学生の募集活動はほとんど行っておらず、本校の評判を見聞きして入学するケースが多い。本校ウェブサイトでは学校案内を常時掲載するとともに、学校見学及び体験入学については随時行っている。

② 中途編入の受け入れ状況

中途編入希望者については、筆記試験及び面接を行い、本校の教育計画の進捗を考慮して適当であると判断した場合には、受け入れを認める。また日本語が苦手な生徒には、本校での学習に支障がないようにするため、別途日本語補習プログラムを行い支援している。

8. 財務について

① 予算・収支計画は適正かつ妥当なものとなっているか

本校では、予算・収支に関しては、中期・年度計画に基づいて執行しており、予算・収支に計上した各項目における金額は公正かつ妥当なものであり、さらに正確性を期すため理事会において報告しその内容についての承認を得ている。

② 財務について会計監査が適正におこなわれているか

本校では、半期ごとの監事による会計監査と毎期の公認会計士による会計監査を行っており、理事会に報告している。

③ 財務情報公開の体制整備はできているか

法改正による公開の義務化に伴い平成21年度より本校においても自己評価を実施・公開するとともに平成24年度からは第三者評価の実施についても検討してきたが、残念ながら第三者評価については実施に至っていない。今後実施できるよう体制を整えていく。

9. 社会貢献

① 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか

授業の一環として定期的に学校周辺の清掃を行い、近隣地域の美化について意識、動機付けをしている。

② 近隣地域との連携・交流について

グローバル化、多文化共生社会の潮流に乗り、浪速区内の小学校や木津卸売市場との交流、ナニワ区民まつりでの獅子舞、民族舞踊、民族音楽の公演、台湾春節祭の会場提供等、積極的に取り組んでいる。